

根室市のまちづくり・市政推進のために取り組むべき課題  
学力向上と教育環境の充実について

子どもたちが、社会で自立するために必要な学力をしっかりと身に付けることができるよう、学校、家庭、行政、そして地域が一体となって、最適かつきめ細かな取り組みが必要です。

学力に順位をつけることには、いささか抵抗がありますが、子どもたちの実情・実態を知ることが重要であり、その意味では毎年実施してきた全国学力・学習状況調査の結果等もしっかり分析し、学力向上の取り組みに反映させていかなければなりません。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でこのテストは実施されておられませんので、令和元年度が直近の結果になります。(小学校6年生、中学校3年生が対象)

小学生の国語は全国平均から 8.8%、全道平均より 8.0%、数学は全国平均から 14.6%、全道平均より 12.0%低く、前年度の調査結果よりその差は広がっています。  
中学校も、国語は全国平均から 15.8%、全道平均から 15.0%、数学 全国平均から 16.8%、全道平均から 15.0%、英語 全国平均から 11.0%、全道平均から 9.0%といずれの低く、小学校同様全ての教科でその差が広がっています。

このような実態を理解したうえ、子どもたちの学びの環境充実への取り組みを地域全体の課題として取り組むことが重要です。

令和3年度は新しい学習指導要領が完全実施されます。この指導要領では、生きて働くための「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、学びを人生や社会に生かす「学びに向かう力・人間性等」の涵養、主体的な学び、対話的な学び、深い学びが求められます。

学ぶことに興味や関心を持ち自ら学び、コミュニケーションを鍛え、ICT等を活用する深い学びへの取り組みが必要です。

子どもたちの学びの環境としては、小中学校適正配置計画（平成 31 年 3 月改定）により市街地の統廃合が進められており、柏陵中学校が旧根室西高等学校に移転、景雲中学校が光洋中学校と統合、更には、花咲小学校が啓雲中学校跡に移転が進められており、今年度中にその環境が整う予定です。

学校の ICT 環境については、令和 2 年度の新型コロナウイルス感染症対策として行われた国の緊急経済対策に GIGA スクール構想予算が組み入れられたことから、令和 2 年度中に児童生徒一人一台のタブレット端末が配備され、その活用環境として Wi-Fi も含めたインターネットやデジタル教材が整備されています。

コロナ渦の中で加速・実現した GIGA スクール環境は、子ども体に個別に適正化された質の高い学びの提供ができる環境であり、この充実した環境を学力向上対策等にも生かす必要があり、教職員の ICT リテラシーの向上や ICT サポーターの配置、更には、オンライン学習に備えた家庭環境の整備支援などに取り組むことも重要と考えます。

ICT 環境としては、昨年度根室高校教育振興会が組織され市の負担金により高校生全員にパソコンを提供（卒業時に贈与 年間約 3 千万円）する事業もスタートしています。

また、今年度からは学校給食の無償化（年間約 1 億円）もはじまっています。

子どもたちは地域の宝物であり、一人ひとりの可能性を高めるための、様々な場、環境の提供が必要であり、生涯学習の場も含め地域全体で子どもたちの学びに関心を持ち、その成長の場に参加する地域ぐるみの教育環境充実への取り組みが大切です。